

R4 ライフステージ（室賀保育園）_やまほいく事業【まとめ】

1 事業概要

(1)日時 令和4年10月18日(火) 午前9時から11時まで

(2)場所 室賀保育園、鉢巻山

「鉢巻山」は室賀保育園の散歩コースの先にあり馴染みのある場所

(3)参加人数 園児 21名、引率(園長及び保育士)2名、事務局1名

(4)講師 ひるま植生 Salon 学芸員 蛭間 啓氏(農学博士)

(5)ねらい 友達と一緒に鉢巻山を散策し、自然物を見つけたりそれらを使って遊んだりすることを楽しむ。

(6)日程 9:00 全体会⇒9:10 園出発⇒9:30 森へ到着
10:30 森を出発⇒11:00 園着

2 実施内容:【室賀保育園(信州型自然保育認定園)での自然保育(野外散策)】

9:00 園庭での説明(注意事項など)

- ・出発前、園庭にて講師の蛭間さんを紹介。
- ・事故などに気を付けながら、鉢巻山にある自然を観察し、いろいろな植物を見て触れる事、鳥や虫の声にも耳を傾けて聞いてほしい事などを説明。



9:10~11:00

- ・園から鉢巻山の森を歩いて往復。

その間に野遊び:蛭間先生から「遊びのヒント」

- ① ススキとアブラススキの違い

アブラススキは手に取ると油のようにベタつくことを体験

- ② エノコログサ(通称猫じゃらし)には、キンエノコロという種類もある。2種類を比べながら、キンエノコロは穂の輝きが特徴であることを日にかざして説明



- ③ 「クズ」の葉は手のひらで叩くとパン！と音が出る。手で叩くと葉が裂けて音が出る。子どもたちは一所懸命に叩いていた。また実(えんどう豆に似ている)も観察・採取。近くあったアレチウリは似ているけど、外来種でトゲが痛いことも体験。



- ④ 野生の「アケビ」を発見

最近では野生の「アケビ」を見ることが少なくなったが、珍しく手が届く高さに実がなっていた。蛭間さんが採って説明。

- ⑤ 山にある「クリ」や「クルミ」は、家の木のより小さい「うちの栗の方が大きい！」

- ⑥ 「モズ」の高鳴き:木のとっぺんにとまったモズが鳴いている姿と鳴き声を観察できた。



R4 ライフステージ（室賀保育園）_やまほいく事業【まとめ】

- ⑦ その他、「カゼクサ」、「サラシナショウマ」、「ほおずき」など、実際に手に取って、それぞれの感触を楽しんでいた。

3 気付き

- ① 身近な自然の中で、よく見る植物でも、よく見てみると「違い」があることなどに驚き
- ② 友達にも見せたり、教えたり、思い思いに自然を体感できた。
- ③ それぞれこだわりを持ちながら採取したものを、保育園で用意した、ペットボトルで作成した肩掛けバックに入れて持ち帰ってきた。



4 その他安全管理等

- ・車道横の歩道を歩く際は、2人1組で手をつないで列になり、前後の友達と距離が空くと引率の先生が声を掛けるなど配慮し、安全に気を付けながら行動できた。
- ・大きな道路を渡る時には、必ず集団となって短時間での横断に心掛けていた。
- ・ペットボトルで作成した肩掛けバックに、採取したものをに入れて来られたので、両手がふさがる事がなく安全に行動できた。



5 園庭での振り返り(講師より)

- ・昨日の雨から、一転青天、実施できてよかった。
- ・園児の皆さんが色々なものに興味を持ちながら野山を散策することができて、とても楽しい時間を過ごすことができた。
- ・野山には時期に応じて色々な種類の植物、野鳥が生息しているので、保育園の周りなど身近なところにも目を向けて、自然の中から色々なものを見つけしてほしい。



6 総括(全体のまとめ)

- ・自然あふれる環境が身近にある園児たちも、普段とは違う視線も加えながらの野外散策となり、自然に触れ、楽しみながら自然観察を体験することができていた。
- ・講師の先生に教わったことを、保育園の先生方も園児たちと一緒に学び、自然の中に生息する植物や野鳥に関心を深める貴重な機会となった。
- ・地域の身近な自然の中で、五感で感じた経験は、きっと記憶の中に残っていくと思われた。

